

2018年10月17日

各 位

大阪中小企業投資育成株式会社  
代表取締役社長 齋藤 浩  
(大阪市北区中之島3-3-23)

## 投資先企業景況アンケート結果の発表

下記の通り、当社投資先企業に対して景況アンケートを実施いたしました。  
結果については次頁以下をご覧ください。

調査時点：2018年9月中旬

調査対象先：当社投資先企業995社

回答数：614社

回収率：61.7%

---

◇本発表に関するお問い合わせ先

事業支援部

福山 裕人

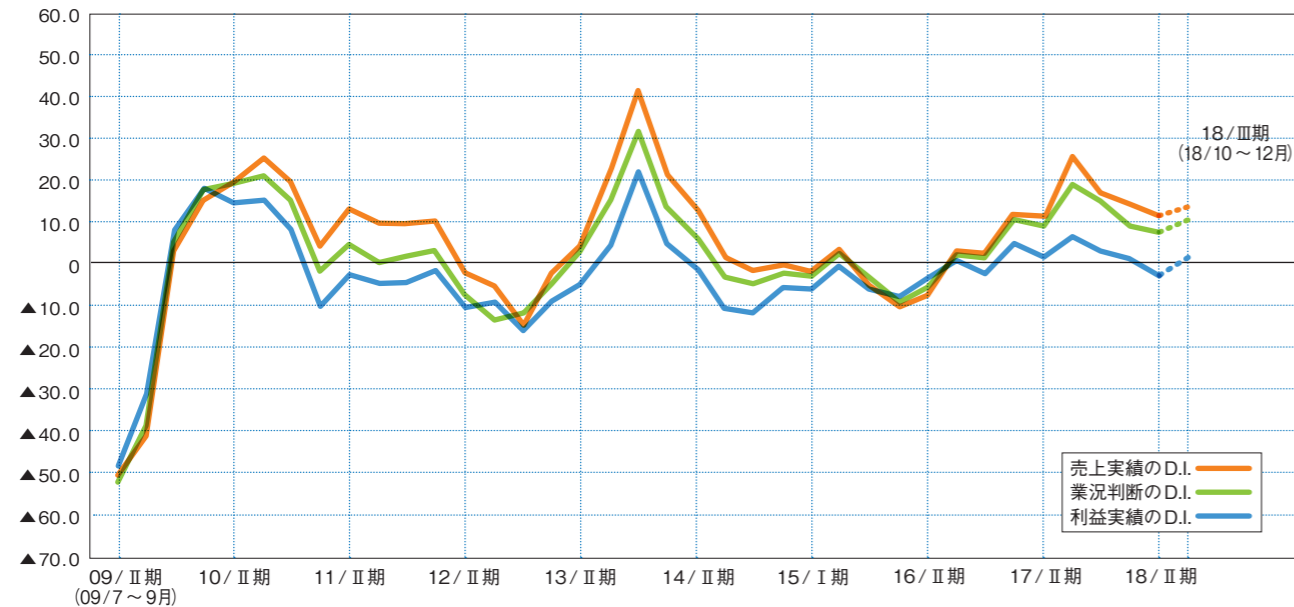
電話：06-6459-1700

メール：pr@sbic-wj.co.jp

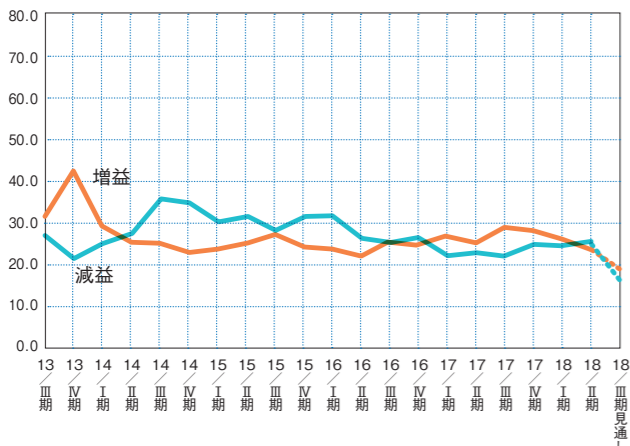
# 3期連続悪化で 足踏み鮮明に

投資先企業の2018年度第2四半期の景況アンケートによると、2018年7～9月期の売上実績、利益実績、業況判断実績の各D.I.は3期連続で悪化し、景気の足踏みが鮮明になった。

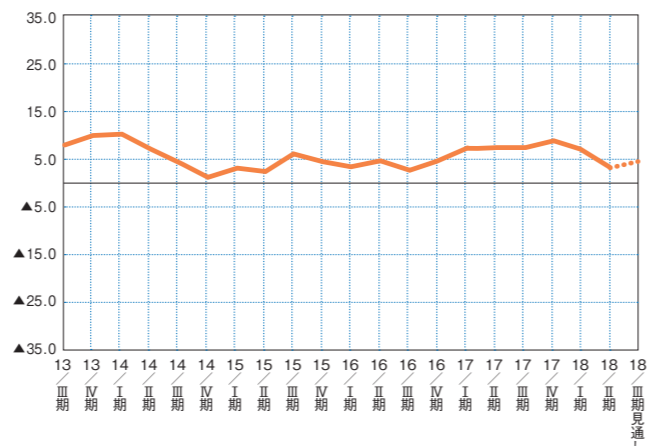
売上及び利益実績・業況判断のD.I. (前年同期比) の推移



利益実績の増減益割合 (前年同期比) の推移



資金繰り実績のD.I. (前年同期比) の推移



- 2018年7～9月期の売上実績D.I. (増収企業割合-減収企業割合)は前四半期の14.0から11.7へ、利益実績D.I. (増益企業割合-減益企業割合)は0.8から▲3.3へ、業況判断実績D.I. (好転企業割合-悪化企業割合)は9.1から7.5となった。売上実績・利益実績・業況判断実績の各D.I.は、3期連続で悪化し、景気の足踏みが鮮明になった。豪雨・台風・地震などの自然災害が相次いだことも下押しにつながったものと見られる。
- 利益実績D.I.を業種別推移表で見ると、2018年7～9月期ではマイナスを示しているのは7業種で、食料品・繊維についてはマイナスの状態が長く続いている。前四半期からプラスに転じたのは金属製品の1業種で、新たにマイナスに転じた業種はなかった。
- 2018年10～12月の見通しD.I.は、2018年7月～9月期の売上実績D.I.11.7から見通し13.4へ、利益実績D.I.▲3.3から見通し1.2へ、業況判断D.I.7.5から見通し10.3へと、い

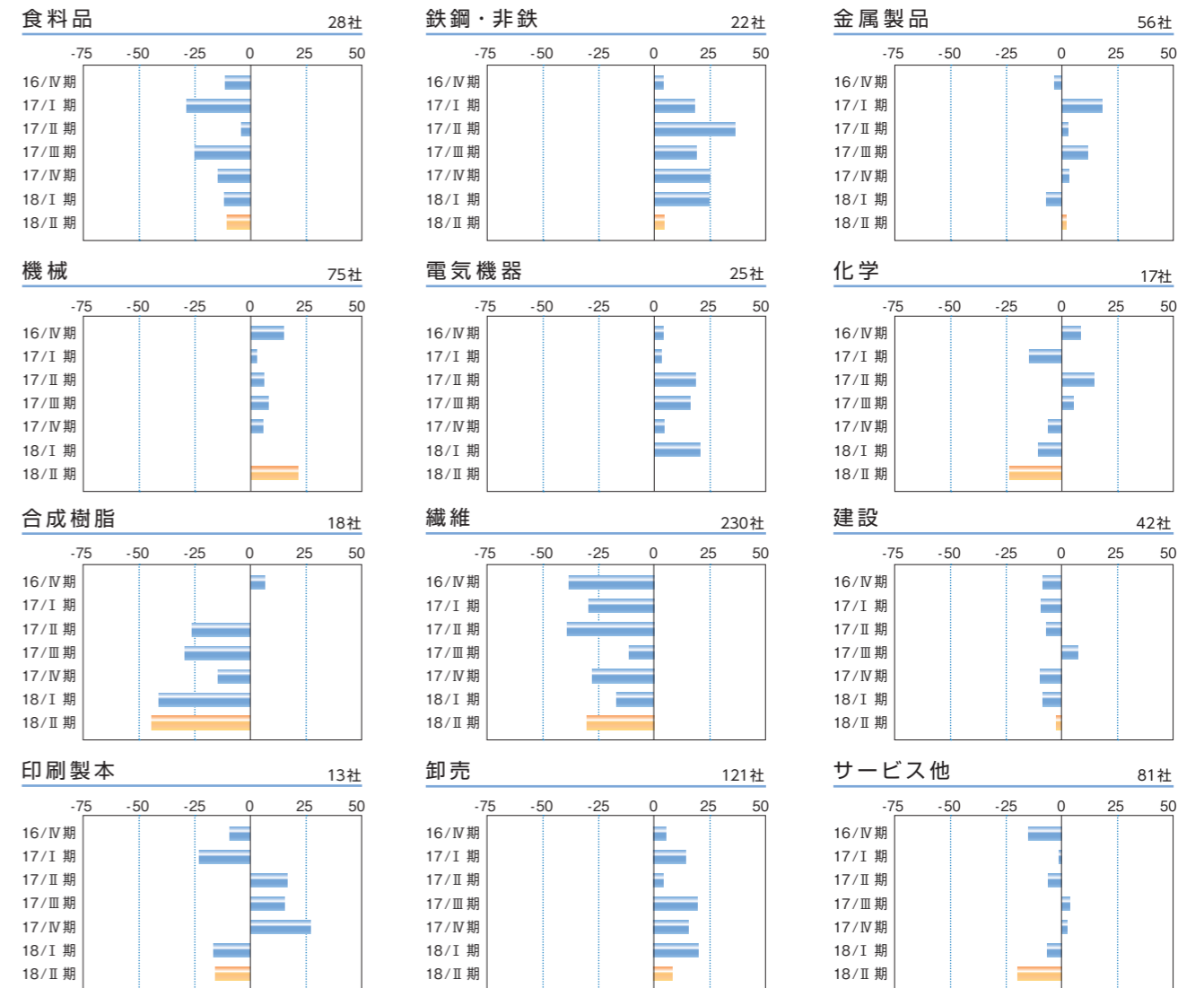
ずれも改善を見込んでいる。足踏み状態にあるとはいえ、引き続き景況感に底堅さも見られることから、自然災害等の影響も一時的なものとして捉えている模様だ。

利益実績の増減割合で見ると、増益を見通す企業が4.3ポイント減少し、減益を見通す企業も8.8ポイント減少しており、先行きについて、依然慎重な姿勢が続いている。

なお、9月調査の日銀短観では、大企業の製造業で3期連続悪化し、非製造業も8四半期ぶりに悪化した。米中の貿易摩擦や原油価格の上昇などに加え、天候不順や自然災害が打撃となった。先行きについては、過熱する米中の関税合戦への不安や、それに伴う中国経済の減速懸念など、保護主義の連鎖が日本経済に及ぼすリスクに対して警戒が必要となっている。

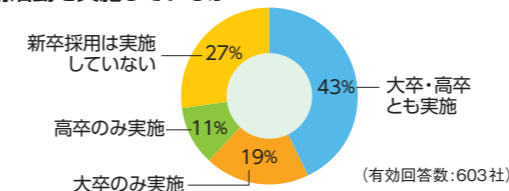
また、規模・業種を問わず慢性化しつつある、人手不足への懸念も払拭されない状況が続いている。

主要業種別利益実績のD.I. (前年同期比) の推移

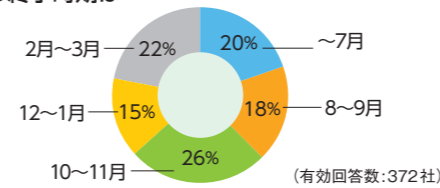


## 新卒採用活動についてのアンケート結果 (端数未調整)

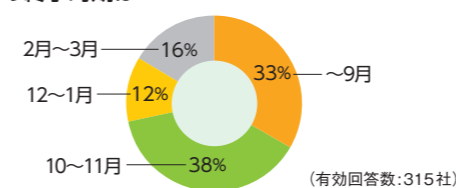
### ●新卒採用活動を実施しているか



### ●大卒採用活動の終了時期は



### ●高卒採用活動の終了時期は



経団連が定める大卒採用活動の解禁日のルールが廃止され、採用スケジュールのルールについての議論が活性化しています。中小企業の採用活動への影響が懸念されるなか、現在の採用活動の実態についてアンケートを実施しました。

●新卒採用活動を実施しているかについては、「大卒・高卒とも実施」が43%、「大卒のみ実施」が19%、「高卒のみ実施」が11%、「新卒採用は実施していない」が27%となりました。大卒・高卒の採用活動を並行して進めている企業が最も多いという結果となりました。

●大卒採用活動の終了時期については、「～7月」が20%、「8～9月」が18%、「10～11月」が26%、「12～1月」15%、「2～3月」が22%となっています。多くの大手企業で正式内定日とされる10月1日以降にも、引き続き採用活動を行っている企業が6割を超えています。

●高卒採用活動の終了時期については、「～9月」が33%、「10～11月」が38%、「12～1月」12%、「2～3月」が16%となっています。高卒採用は厳格にルールが適用され、9月16日から選考が開始されます。学業への配慮のため基本的に面接は1回のみで、生徒が1社ずつしか選考を受けられない「1人1社制」という慣行のため、面接後速やかに採否を通知するよう求められています。大卒に比べ短期間で集中的に採用活動が行われており、およそ7割の企業が11月までに採用活動を終了しています。

大卒・高卒とも卒業直前の2～3月まで門戸を開いている企業が2割程度あり、採用意欲の高さが窺える結果となりました。